

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ボイストレーニング3	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	桜田 ヒロキ		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
1年の時に習得したハリウッド式ボイストレーニング（Speech Level Singingで使われる発声理論）を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行い、更にそのスキルを深めていく。実際のライブ等のステージでそれを活かして歌えるようになる。					
到達目標					
声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化・隔週で個別に声の状態を確認し、常に的確なエクササイズの割り当てを目指す					
教育方法等					
授業概要	ハリウッド式ボイストレーニングで個人レッスンを中心に行っていく。毎週生徒を学籍番号順に当て、公開レッスン方式で行っていく。				
注意点	個人差が大きいので、ヒアリングをしっかりと行っうえでレッスンを進めていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 （口頭・実技）	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ヒアリング		セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる		
2回	ヒアリング2		公開レッスン方式で実際に発声法を取り入れて実践する		
3回	個々の確認		学籍番号によって個人レッスンを行う		
4回	個々の確認2		動画を必ず撮って個々の課題を振り返る		
5回	ガイダンス		エクササイズの割り当て		
6回	語尾についての理解		曲に応じた美しいフレーズの語尾を考える		
7回	自由曲による実習		任意の曲でフレーズのまとまりを考える		
8回	自由曲による実習2		ビブラートをうまく使う		
9回	細かな表現		フレージングを考えながら歌う		
10回	ガイダンス		エクササイズの割り当て		
11回	公開レッスン		学生の悩み等聴きながらレッスンを行う		
12回	声域について		声域の広げ方を学ぶ		
13回	課題曲を使用しての実習		指定した曲をこれまでの発声法等を意識しながら歌う		
14回	声帯についての再確認		声帯の動きを理解し、意識しながらの歌唱実習		
15回	前期エクササイズを振り返って		前期を振り返っての個々の発表		